

「新エネルギー・省エネルギー施設整備事業補助金」
H27定期報告書及びH28現地ヒアリング調査の集計結果について

H28.6.15
環境政策課
商工振興課

【定期報告書の提出及び現地ヒアリング調査の実施について】

(1)目的

新エネルギー・省エネルギー施設整備事業の補助金交付条件において「設置後7年間（耐用年数が7年以下のものはその年数）は、当該施設において利用すること。また、上記の期間中、設置した施設に応じて、発電量・節電量等の実績を報告すること。」と規定されており、毎年発電量等の報告を求めている。

補助制度創設の「補助を活用して導入された太陽光発電設備や省エネ設備の効果により、補助事業者が体力を整え、本業である事業の振興が図られることで、最終的には雇用の拡大に繋げてもらう。」という目的に沿う状況となっているか、平成27年度分の定期報告書を元に、現地ヒアリングを実施することで、補助事業の検証を行う。

(2)実施期間

①H27定期報告書 平成28年5月9日から5月31日まで

②現地ヒアリング 平成28年6月8日から6月10日まで

(3)対象事業所

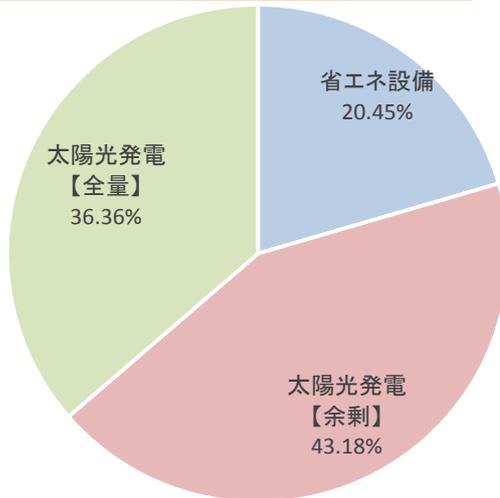
①H27定期報告書 平成24・25年度設置事業者 全44社
(回答率 100%)

②現地ヒアリング 省エネルギー設備 2件 (H24:1件、H25:1件)
太陽光【余剰売電】 3件 (H24:2件、H25:1件)
太陽光【全量売電】 5件 (H24:5件、H25:0件)

(4)対象期間

平成27年度ベース(H27.4月分～H28.3月分)

【導入設備の内訳】

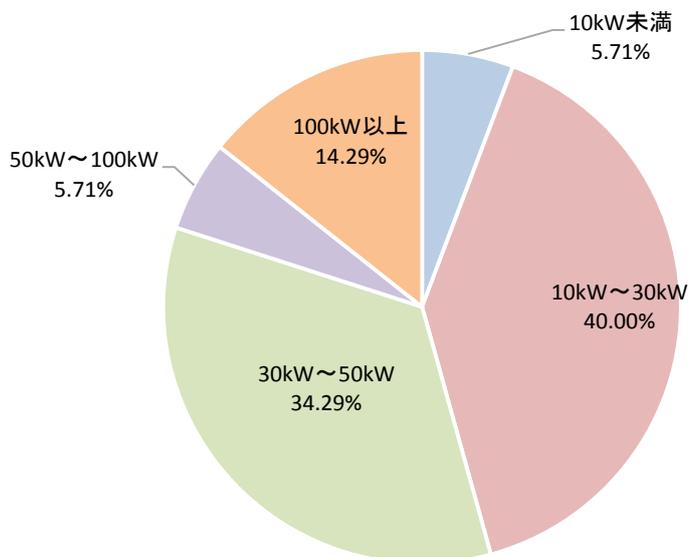


平成24・25年度計:44件

【内訳】

省エネ設備 9件
 太陽光発電(余剰) 19件
 太陽光発電(全量) 16件

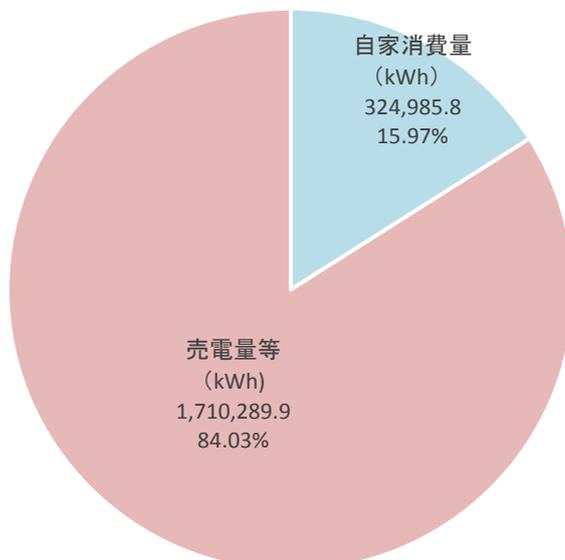
【太陽光発電設備設置出力(kW)】



太陽光発電設備の設置出力は、10～50kWが全体の74%となっており、ミドルレンジが大半を占めた。
 一方で10kW未満が2件、50kW以上が7件と設置条件などの状況に合わせた出力とする事業所もあった。

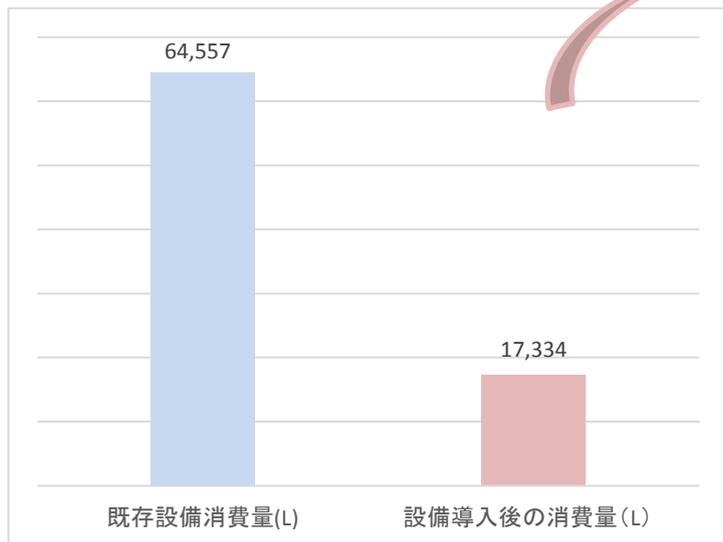
年 度	設置出力(kW)
平成24年度6月補正	310.92
平成24年度9月補正	728.70
平成25年度当初予算	506.77
合 計	1,546.39

【太陽光発電自家消費の割合】



自家消費量(kWh)は、発電総量から売電や変換ロスなどを差し引いたものとしている。
 全量売電設備としての設置や余剰売電設備でも休日の場合などは常に売電している状況などから全体の15%程が自家消費分となっている。

【灯油等削減量(L)】

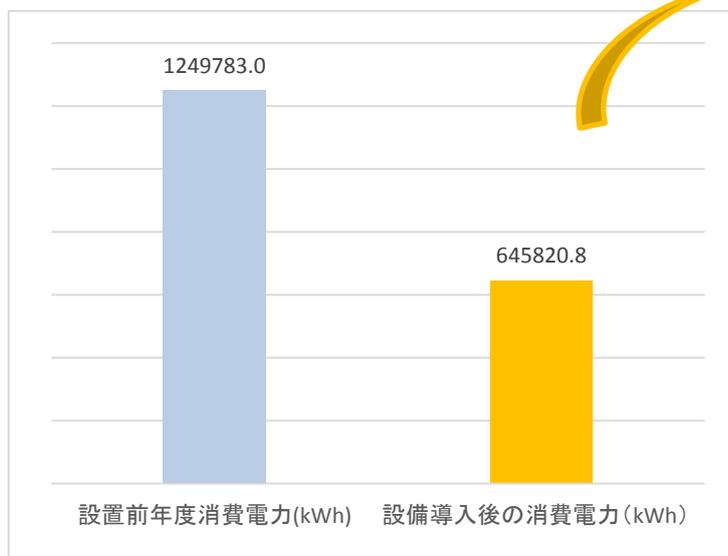


削減割合
73.15%

2社について灯油空調設備から省エネ型の電気空調設備に変更したことにより、大きな削減割合となった。
また既存の空調機が灯油及び電気の両方を燃料としていたことから、電気使用量についても効率化により削減となった事業所もあり。

なお、他の1社については、冬季のみに使用するため11月から3月までの実績となった。

【電力削減量(kWh)】



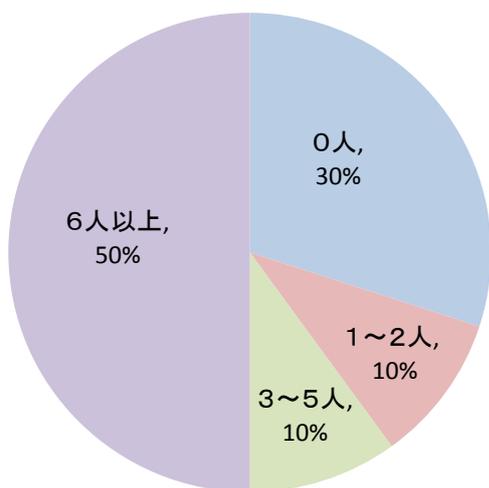
削減割合
48.33%

電力の削減効果はあるものの、工場等もともと消費電力が大きい事業者からは、そこまで大きな削減になっていないという声もあった。

※設置前年度消費電力は省エネルギー設備値に太陽光発電自家消費値を加算したもの。

※設置前年度消費電力は事業所毎の平成23年度または平成24年度数値を合計したもの。

【新規雇用(市内)の状況】



対象設備の導入効果により雇用を行った企業が多く見られた。
3人以上の雇用を行った事業所については他の要因(経営上の理由など)による相乗効果も大きいと考えられる。

区分	0人	1~2人	3~5人	6人以上
事業所	3社	1社	1社	5社
合計	0人	1人	3人	50人

※対象:H28現地ヒアリングを実施した10社。

※他要因での相乗効果による雇用も含む。

【現地ヒアリング調査の状況】

(1)目的

補助制度創設の「補助を活用して導入された太陽光発電設備や省エネ設備の効果により、補助事業者が体力を整え、本業である事業の振興が図られることで、最終的には雇用の拡大に繋がってもらう。」という目的に沿う効果が出ているか、設置後の現地ヒアリングを実施することで、補助事業の検証を行う。

(2)H27ヒアリング対象

- ① 省エネ設備 2件(H24年度対象事業者:1件、H25年度対象事業者:1件)
- ② 余剰売電設備 3件(H24年度対象事業者:2件、H25年度対象事業者:1件)
- ③ 全量売電設備 5件(H24年度対象事業者:5件、H25年度対象事業者:0件)

(3)H28ヒアリングを通しての考察

他の要因による相乗効果を含め、対象設備の導入効果により雇用を行った企業が多く見られた。太陽光発電設備や省エネ設備の導入による今後の展望として、従業員に対する福利厚生の変更や、雇用の拡大、新たな設備の導入を検討していきたい等積極的な意見が多々見られた。

また、この度の設備導入により、企業のイメージアップやPRにも繋がったという意見もあり、従業員の節電や省エネの意識向上にも繋がった事業者も多く見られた。

その一方で、当面は設備の初期投資回収に充てるため、また、会社の経営を維持していくのが課題という会社もあり、なかなか新たな雇用や設備投資に繋げるのは難しいという意見もあった。

●省エネ設備の状況

H24年度 A社 H28.6.8(水) 現地調査	<ol style="list-style-type: none">① 現況の確認 :工場内での稼働を確認。エアコン・暖房機・高周波発振機を設置。② 設置後の効果 :3種類の機械を設置したが、少ない電力で効果が上がったり、工場の稼働率が上がったり、効果が見られる。③ 今後の考え方 :他の要因との相乗効果により、収益も増えたので、引き続き雇用等に繋がっていきたい。④ 課題等 :国の補助金はハードルが高かったりするので、市として事業者に対する補助を積極的にお願いしたい
---------------------------------------	---

<p>H25年度 B社</p> <p>H28.6.9(木) 現地調査</p>	<p>① 現況の確認 :工場内での稼働を確認。暖房設備2台を設置。</p> <p>② 設置後の効果 :暖房設備を入れ替えたことで、冬の作業が楽になった。</p> <p>③ 今後の考え方 :3名新規雇用を行った。今後新たな省エネ設備導入を検討していきたい。</p> <p>④ 課題等 :雇用の募集をしてもなかなか需要がない。</p>
--	---

●太陽光発電設備【余剰売電】の状況

<p>H25年度 C社</p> <p>H28.6.8(水) 現地調査</p>	<p>① 現況の確認 :工場屋上での稼働を確認。</p> <p>② 設置後の効果 :売電収入が経営の助けとなっている。 従業員の節電に対する意識が高まった。</p> <p>③ 今後の考え方 :今のところ雇用には繋がっていないが、積極的に取り組んでいきたい。</p> <p>④ 課題等 :仕事量の減少から、雇用や設備投資に繋がらない。 安定した仕事を増やすことが重要になっている。</p>
<p>H24年度 D社</p> <p>H28.6.9(木) 現地調査</p>	<p>① 現況の確認 :工場屋上での稼働を確認。</p> <p>② 設置後の効果 :売電収入が安定した収益となっており、会社の運営に役立っている。</p> <p>③ 今後の考え方 :雇用には繋がっていないが、新規設備の導入やバイオマス発電を検討していきたい。</p> <p>④ 課題等 :経営の維持が大変で、設備導入が難しい現状がある。</p>

<p>H24年度 E社</p> <p>H27.6.9(木) 現地調査</p>	<p>① 現況の確認 :工場屋上での稼働を確認。</p> <p>② 設置後の効果 :仕事量にもよるが、電気料の削減になっている。</p> <p>③ 今後の考え方 :新たな設備投資も考えており、それに伴い、人材募集をかけて増員したいと考えている。また、太陽光発電設備の増設もできればしていきたい。</p> <p>④ 課題等 :技術者の確保が難しい。</p>
--	---

●太陽光発電設備【全量売電】の状況

<p>H24年度 F社</p> <p>H28.6.8(水) 現地調査</p>	<p>① 現況の確認 :工場の屋上での稼働を確認。</p> <p>② 設置後の効果 :順調に発電している。 市の補助金がなければ設置していなかった。</p> <p>③ 今後の考え方 :雇用:1名(正規) しばらくは借入金の返済に充てる。</p> <p>④ 課題等 :景気の影響もあり、売電収入は会社の運用のために使用しており、雇用や新規設備の導入にまで回らない。</p>
<p>H24年度 G社</p> <p>H28.6.9(木) 現地調査</p>	<p>① 現況の確認 :工場屋上での稼働を確認。</p> <p>② 設置後の効果 :想定以上の発電をしている。</p> <p>③ 今後の考え方 :設備導入後7名新規雇用を行った。 投資回収後は、福利厚生や設備投資に充てたい。</p> <p>④ 課題等 :照明、空調設備等の省エネ化。</p>

<p>H24年度 H社</p> <p>H28.6.10(金) 現地調査</p>	<p>① 現況の確認 :工場屋上での稼働を確認。</p> <p>② 設置後の効果 :安定した売電収入となっている。</p> <p>③ 今後の考え方 :倉庫に新たな設備を増設中。 また、会社の増築も予定しており、事業拡大が見込める。</p> <p>④ 課題等 :当初の事業費が大きかった。</p>
<p>H24年度 I社</p> <p>H28.6.10(金) 現地調査</p>	<p>① 現況の確認 :建物の屋上での稼働を確認。</p> <p>② 設置後の効果 :市の補助金がなければ設置していなかった。 安定した収入となっているのでよかった。</p> <p>③ 今後の考え方 :同じ建物に増設を考えている。</p> <p>④ 課題等 :買取期間が終了した後の対応。</p>
<p>H24年度 J社</p> <p>H27.6.10(金) 現地調査</p>	<p>① 現況の確認 :工場屋上での稼働を確認。</p> <p>② 設置後の効果 :着実に会社の収益に繋がっている。 会社の外壁にモニターを設置したことで、社員の太陽光発電に対する意識の向上が図られた。</p> <p>③ 今後の考え方 :太陽光発電設備の増設。</p> <p>④ 課題等 :積雪対策。</p>

以上